

安芸高田市における学校給食の基本的考え方〔概要〕

安芸高田市の学校給食に関する現状と課題

安芸高田市の学校給食の現状は、旧町単位で調理施設、設備やサービス水準が異なっており、均衡化が求められています。また、調理施設の老朽化が著しい中、必要な改善に努め、「学校給食衛生管理の基準」に適合した、安全性の向上を図っていくことが必要です。

旧町名	吉田町	八千代町	美土里町	高宮町	甲田町	向原町
小学校 13校	学校給食センター (完全給食)	学校給食センター (完全給食)	学校給食調理 (完全給食)	学校給食共同調理 (完全給食)	自校式 (完全給食)	学校給食センター (補食給食)
	3校	2校	1校	3校	3校	1校
中学校 6校		学校給食センター				学校給食センター
	(ミルク給食)	(完全給食)	(ミルク給食)	(ミルク給食)	(ミルク給食)	(補食給食)
	1校	1校	1校	1校	1校	1校
幼稚園1園	学校給食センター					
	(補食給食)					
計(園・校)	5校	3校	2校	4校	4校	2校

平成18年5月現在

施設名称	面積	システム	所在地	建築日	給食対象数 (10人単位)
吉田学校等給食センター	347 m ²	ウェット	吉田町吉田 866	昭和50年10月30日	740
八千代学校給食センター	404 m ²	ドライ	八千代町佐々井 2447	平成10年3月10日	300
美土里学校給食調理場	259 m ²	ドライ	美土里町北 16-3	平成8年2月25日	190
高宮学校等給食共同調理場	250 m ²	ウェット	高宮町原田 3420-1	平成3年9月	230
甲立小学校	108 m ²	ウェット	甲田町上甲立 433	昭和59年8月31日	110
小田小学校	128 m ²	ウェット	甲田町上小原 201	昭和55年9月1日	90
小田東小学校	99 m ²	ウェット	甲田町高田原 896	昭和53年10月	130
向原学校給食センター	260 m ²	ウェット	向原町坂 60-1	昭和55年2月	320
合 計					2,110

安芸高田市学校給食に係る基本調査の結果（平成16年度）

- ① 小学校・中学校における給食提供内容の統一と充実
- ② 給食調理施設の適切な配置による効率的な運営管理
- ③ ドライシステム化推進による効率的な運営管理
- ④ 地元農家等との連携による地産地消の推進
- ⑤ 食育の充実

について、今後、検討を進めていくこととしております。

◆ 学校給食の基本方針 ◆

<p>中学校給食の実施</p>	<p>市内の均衡化を図るとともに食育の充実を期し、中学校における完全給食の早期完全実施に向け、諸条件の整備を進めていくことが必要です。</p> <p>実施に当たっては、関係者の連携・調整や検証を確実にを行い、最適な実施への移行が図れるよう配慮が望まれます。</p>
<p>食育の推進</p>	<p>これまでの実践による効果を検証しながら、安芸高田市全体の指標を明確にし、実践効果を広げていくことが求められています。</p> <p>給食調理場に配置されている学校栄養職員は、学校の動きや子どもの実態把握ができていくことが課題としてあげられます。学校との連携体制を推進するとともに、学校給食の管理と食に関する指導を一体的に展開する栄養教諭の配置も求められています。また、家庭や地域と協力した食育の取組みを促進することが、より効果的な食育の推進につながると考えます。</p>

◆ 学校給食調理施設の整備 ◆

<p>給食調理施設の整備の方向性</p>	<p>「学校給食衛生管理の基準」に準拠した給食調理施設の整備のためには、施設の大規模な改善等が必要であり、多額な経費負担が見込まれます。その中で、長期的な費用対効果を考えると、維持管理コストが低い1箇所での管理運営が効率的であり、効果が高いと考えます。</p>
	<p>衛生管理の面では、指導体制を1箇所に集中することで、衛生管理体制の一元化の促進につながります。</p>
	<p>配送時間について、1箇所の場合でも50分程度の適正なルートが可能であると考えます。もちろん、保温についての創意工夫は大切です。</p>
	<p>建築年月の経過が十数年以下のドライシステム導入の調理施設では、調理機器の劣化、空調設備や換気設備の状況、衛生区分の適用性などをみると、長期的に施設運用する場合は大規模な改修を伴うこととなります。</p>
<p>市内1箇所に3,000食提供可能な学校給食共同調理場を新設するものとし、適地選定、施設整備や管理運営等について、次年度より計画的に整備を進めることが必要であると考えます。</p> <p>特に具体的に整備が進む中で、アレルギー対応や食環境の整備（配膳方法の工夫、ランチルーム、食器の整備）については、創意工夫が必要と考えます。</p> <p>今後、市内の学校給食提供サービスの均衡化と費用対効果を考えた学校給食に関し、懸念されることがらが想定される場合は、平成22年の共用開始までに、きちんと整理対応されておくことが大切です。</p>	